ennovation inc.

株式会社 イノベイション

Management Systems Consulting Company

経営者と企業の夢を実現する

「社会技術」を提供します

これをお読みの皆様へ

株式会社イノベイション代表取締役、山上裕司と申します。
『経営者と企業の夢を実現する「社会技術」を提供する』ことを使命とした会社です。
その使命を果たす上で、私たちが大事にしているいくつかの点についてお話をしたいと思います。

「わかりやすさ」と「納得感」の重視

経営者向けのセミナーなどで、経営者としての心がまえを高めるために「感動」が使われる傾向が多いようです。
感動は、たしかに人を動かすエネルギーを高めることがあります。
しかし、企業は『継続』こそが命です。
瞬間的に高まる情動は時にとして、深い思考にもとづかない行動をさせたり、
あるいは、理想と現実を極端にとらえてしまい、大きなストレスを生み、
結局、継続性が失われることが多いようです。
良い会社づくりのために日々続けられること、それに必要なことは、
「感動」よりも、「わかりやすさ」と「納得感」だと捉えています。

「科学的であること」の重視

『苦労の末にやっと成功に…』というお話・ストーリーには、
『なるほど』と、思えるポイントが散りばめられています。
しかし、大事なのは、その『なるほど』が、そのお話だからこそ成り立つものではなく、
他の会社や場にも「移転可能」であり「再現可能」であることです。
そうでなければ、そのお話は残念ながらまさに「お話」で終わってしまいます。
その「お話」における成功のポイントで止まることなく、
なぜそれが成り立つのか、といった本質を問うことから
そのような「移転可能」「再現可能」な手法が見えてくると思います。
良い会社づくりのために日々続けられること、
それに必要なのは、『あの誰々が何をした』という話ではなく、
明解なモデルに基づき、自分なりの展開ができる「移転可能」「再現可能」な手法です。

株式会社イノベイションの信念は、
良い経営をするためには、カリズマや天才である必要はなく、
また、その真似をする必要もない、ということです。
日常における継続こそに真実があり、
「わかりやすさ」と「納得感」、「科学的であること」をとても大切にしています。
この弊社のアプローチに、少しでもご興味がございましたら、ぜひ弊社にご一報ください。
また、このようなアプローチが知り合いの方や企業に有益とお考えの方は、ぜひ弊社をご紹介ください。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

代表取締役　山上裕司

イノベイションが提供する事業

アウトカムを具現化するプロセスモデリング

組織が、QMSを入れる理由は、未来に続く強い基盤を構築し、重大な事故を引き起こさないことであり、それが顧客から支持されることではないでしょうか。

しかし、組織がそのQMSを確立する際に、まず国際規範や規格を取り入れたらどうなるでしょうか。標準と呼ばれるモノは、あくまでも一般的な“モデル”にしかすぎません。
モデルはモデルでしかなく、そのままを組織に取り入れても、規格を中心とした組織のQMSをつくることに目が行き、不必要な書類の作成、実効性の低い手順を含んだマニュアルが出来上がることになってしまいます。

問題をかかえているとしても組織がすでに機能しているのであれば、組織にはすでに固有のシステムがあります。まず、今ある組織のシステムを忠実に写像すること。そして、その上に組織の意図する結果に基づく、あるべき未来像を写像することが重要です。その一連の写像とそれによる思考、それこそがプロセスモデリングです。

モデリングは組織の実際の活動（プロセス）の描写からはじめます。それによって、組織固有のQMSが見えてきます。プロセス・構造・相互関係・ネットワーク・能力・機能・意図する結果をプロセスモデリングすることで、組織固有の状況・連鎖・システム・変化・変動・忠実な描写、そして、オーナーシップが得られます。モデリングにより組織の現状のQMSを理解し、あるべき姿のQMS組織づくりを可能します。

イノベイションでは、独自に開発したプロセスモデリングツールを使い、ISO9001：2015年版移行やQMS構築やそのレビュー、新規プロジェクト支援など組織のニーズに合わせた支援により、未来のある組織の基盤づくりを行なっています。

会社の未来をつくる内部監査

多くの研修会社が提供しているISO9001規格の要求事項の説明を主とする研修とは大きく異なり、弊社の研修は仕事のプロセスに焦点を当て、仕事の目的に必要な要素を描写します。
ワークを通じてプロセスモデリングツールを使うことで、組織における事業環境（コンテクスト）、機会およびリスク、必要な行動・力量・資源を明確にします。それによって、必要な要求事項を各々で見つけることが可能となり、要求事項の必要性の理解促進につなげます。

前提のない問いかけ方法「クリーンランゲージ」を導入し、双方の認識を一致させることで、個人への感情などに触れることなく、客観的にモノゴトや仕事の仕組みなどの問題に注目することができます。
弊社が提供している監査員研修は、被監査側（相手）の仕事をよく理解することに重点を置くので、被監査側は自ずから重要点を見出し、監査結果を嫌がらずに受け入れることが出来ます。また、監査側と被監査側が思考を同期させながら、合意できる監査ポイントを得ることが可能となります。

イノベイションでは、規格の必要性及び規格の理解（1日目）、2015年版対応を含めた実践的監査方法（2日目）の2日間研修を中心に支援をしています。

イノベイションが提供する事業

学習する組織を実現する潜在原因分析

QMSを運用する組織は、不適合に対して是正処置を行うことが求められています。また、そのために不適合の原因特定が求められています。しかし、効果的な原因分析は難しく、類似の不適合が発生していることも少なくありません。

多くの場合、なぜなぜ分析が採用されており原因の特定が一方向に絞られがちになりますが、果たして原因は一つのみなのでしょうか。また、原因はモノや仕組みだけの問題でしょうか。そもそもどこまで”なぜ”を追求するのでしょうか。

QMSは、人が運用するシステムである以上、そこに人の要素を含まないことは現実的ではありません。また、人を原因から除外することにより、人・組織の学習の機会を取り除いてしまうことになりかねません。

弊社の扱う潜在原因分析では、バイアスがかからないエビデンス収集、原因の構造の可視化を行なった上で、発生した問題を“組織の学習”とする機会を提供しています。

事実に基づいた物理原因・人の原因・関わる関係者/組織の潜在的な原因など、大きな視点からの切り込みで、表面からは見えていなかった潜在原因を探ります。潜在原因分析は「人の意識を変える」ことを最終的な目標としています。この「人の意識を変える」ことは、この意識が二度と同じことを起こさないことを意味しています。

潜在原因分析によって、組織に以下の成果がもたらされると考えております。

- 原因分析に関わる人々の意識が変わるため、負の行動を繰り返さなくなる
- 誰かのせいにしがち、1人の責任に押し付ける傾向から脱却できる
- 大規模な事故、不適合が起きる前に、小さな差異や通常ではない予兆に気がつくことを可能にする

仕事に使うクリーンランゲージ

弊社では、現状の理解とあるべき姿のモデリング、さらにはその実装に一貫してクリーンランゲージを使い、MS推進事業に活用しています。

クリーンランゲージとは、前提をもたないすなわちYES/NOを求めることなく、また暗黙の条件を相手に押し付けることなく質問するための技法です。問いかけ側が投影する”前提”等で相手の思考を”汚染”させない、という意味で、”クリーン”という表現をしています。

QMSの現場では概念と手順、管理方法といった手法に満ち溢れていますが、多くの場合においてQMSを決めた人がおり、それを大多数の他の人が無条件に従うといった現場が多く見られます。しかし、現場で頑張っている社員さん個々人には外部からは予測もできない知恵やリソースがあり、それらは組織における資産と言えます。

クリーンランゲージを使うことによって、相手の持つ知識・能力・経験・発想を最大限に引き出すことを可能にし、その結果思考の枠が広がり広仕事がより楽しく・わかりやすくなります。

＊クリーンランゲージを用いた事業モデリングワークの一例

イノベイションではご興味のある方へ、クリーンランゲージ勉強会も行なっております。

＊弊社は米国Clean Language Insititute社(Webサイト：cleanlanguagetraining.com)とパートナーシップを結んでおります

山上裕司（やまがみ　ゆうじ）

【学歴】

米国オレゴン州フローレンス市　サイユースロー高校卒業　米国オレゴン州立大学 (Oregon StateUniversity)入学後 上智大学外国語学部比較文化学科へ編入、1986年に卒業。

【略歴】

1986年に住商電子システム株式会社に入社、ニューロコンピュータや、超並列型コンピュータシステムなど、当時最先端の米国製コンピュータシステムの輸入販売業務に従事。ＯＥＭ供給契約を締結。

1996年、家業である山上建設株式会社に取締役副社長として入社。ISO9001の導入や、ＩＴ化を含む様々な社内改革を試みる中で、次世代経営者としてのあり方に疑問を持ち、自ら起業する道を選ぶ。

2001年、明確な科学的なモデルに基づく企業変革の支援が自らのミッションであるとし、体験した様々なことすべてを糧とし、（有）イノベイションを設立（現：（株）イノベイション）。企業を改善するためのコンサルティング支援活動を開始。

2009年、長年の研究とアメリカでの研修や審査員としての経験を経て、QMS・内部監査に活かすための「ISOファシリテーションを提唱」。その後ISOファシリテーションを通じマネジメントシステム”推進技術”で、「人と組織を元気にする」ことを確固するために、クリーンランゲージを学ぶ。

2013年、クリーンランゲージを取り入れたQMS・内部監査の研修を行い、研修後の変化から、停滞企業化した組織の脱却の糸口として高評価を得る。

2015年、アメリカでFailSafe Netwaork社が開発した「LCA潜在原因分析」の研修に参加。その方法によって、今までの日本での是正における課題を払拭できることを痛感し、知識を習得。

現在はクリーンランゲージを取り入れた、QMS内部監査員研修・組織のコンサルティング・潜在原因分析アプローチを中心に活動中。

【資格等】
（財）日本規格協会認定　品質システム主任審査員
英国 Cleanlearning 社認定　クリーンファシリテーター

【所属】

超ＩＳＯ企業研究会
JIS Q 9005/9006 改正検討委員会　委員(2014)
社団法人　日本品質管理学会　正会員
社団法人北見青年会議所　２００２年卒業
JABマネジメントシステム研究会

株式会社イノベイション

Management System Consulting Company

お問い合わせ先

住所
〒226-0026
神奈川県 横浜市 緑区 長津田町 3016-1-2121

電話番号：045-532-8266

メールアドレス：info@ennovation.co.jp

Webサイト：ennovation.co.jp